

I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

諸君が商学部に入學したら学ぶ経営学では、企業経営に役立つさまざまな要素や能力のことを「経営資源」と呼び、特にヒト、モノ、カネ、情報の4つを四大経営資源と言う。ここではその四大経営資源の一つである、情報の歴史について概観してみよう。

情報の伝達でまず重要な事柄は、15世紀半ばごろの、^(a)ルネサンスの3大発明の1つである、活版印刷術である。後漢の宦官、(1) (2)によって改良された製紙技法は、8世紀半ばの(3) (4)で捕虜となった製紙職人たちからヨーロッパに伝わった。活版印刷はその製紙技法と合わさり、それまでは^(b)一部の人が持ちえなかった情報が飛躍的に広まるきっかけになった。

やがて17世紀半ばになると、イギリスでは新聞や雑誌も多数刊行された。晩年、小説家として有名になる(5) (6)も、政治ジャーナリストとして新聞を発刊している。この時代、比較的豊かな都市市民は、(7) (8)が発祥地とされる、新聞や雑誌を備えた^(c)コーヒーハウスにあつまり、社交や情報交換を行った。世界的に有名な(9) (10)であるロイズも、ニュートンなど科学革命を生み出した科学者の(11) (12)も、これらコーヒーハウスから始まった。新聞の普及は言論の自由とも関係する。19世紀半ば、ウィーンで起きた(13) (14)で検閲が廃止され、言論の自由がもたらされた際、街が新聞や壁新聞でうめつくされたのは、その一例であろう。

19世紀後半になると、(15) (16)による電信機や、(17) (18)による初の上映がその始まりとされる映画など、紙以外の音と映像による情報伝達手段が登場してきた。それらの技術は20世紀になり、ラジオやテレビという形で一般家庭に普及した。

ラジオ放送は1920年にアメリカで始まった。その最初の番組は、(19) (20)の大統領当選を伝える開票速報だった。ラジオはニュースの他、南部の(21) (22)が発祥地と言われるジャズや、野球中継など、大衆文化の伝達にも役立ったが、(23) (24)はそのラジオの普及率に着目し、ホワイトハウスから「炉辺談話」を行い、国民に政策を説明して支持を求めた。

第二次世界大戦後、情報伝達の主役はラジオからテレビに移った。テレビや写真などの映像によるニュース配信は、情報量が多いため人々に与えるインパクトも大きかった。たとえば(25) (26)の「安全への逃避」は、(27) (28)でアメリカの攻撃から逃れようと川を渡る母子の姿を撮影したもので、世界に大きな衝撃を与えた。この戦争は連日テレビで世界中に報道され、^(d)正義の戦争と信じていたアメリカ国内世論に疑問を呈した。また、1993年に内戦中の^(e)スーダン南部で南アフリカの写真家が撮影し、翌年に(29) (30)を受賞した「飢餓でたおれた少女を狙うはげわし」は、世界の指導者たちに強いメッセージを残した。

芸術面では、20世紀の絵画も社会に対して強いメッセージを示すようになった。(31) (32)で母国が爆撃されたことに抗議し、(33) (34)が制作した「ゲルニカ」はその例である。また広告・報道写真などの情報伝達手段そのものを素材にポップアートを展開する動きもある。「キャンベルスープ」のシルクスクリーンで知られる(35) (36)はその代表だ。

こうしてみると、情報は単にニュースとして捉えるのではなく、その背後にある発信者の意図やメッセージを汲み取ることが大事であることがわかる。大学に入學したら是非、そういう目で情報を見てほしい。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (35) (36) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (36) にマークしなさい。

- | | | | |
|---------------|-------------|------------|------------|
| 11 安史の乱 | 12 イスタンブル | 13 ウィーン | 14 ウィルソン |
| 15 ウォーホル | 16 エディソン | 17 王立協会 | 18 科学アカデミー |
| 19 甘英 | 20 クーリッジ | 21 蔡倫 | 22 沢田教一 |
| 23 三月革命 | 24 シアトル | 25 シカゴ | 26 四月普通選挙 |
| 27 スウィフト | 28 スペイン内戦 | 29 船舶会社 | 30 第二次世界大戦 |
| 31 タラス河畔の戦い | 32 ダリ | 33 チャップリン | 34 張衡 |
| 35 朝鮮戦争 | 36 チョコレート会社 | 37 デフォー | 38 二月革命 |
| 39 ニハーヴァンドの戦い | 40 ニューオーリンズ | 41 ノーベル賞 | 42 ハーディング |
| 43 ピカソ | 44 ピュリッツァー賞 | 45 ファラデー | 46 フィールズ賞 |
| 47 フーヴァー | 48 フーコー | 49 ベトナム戦争 | 50 保険会社 |
| 51 モールス（モース） | 52 リュミエール兄弟 | 53 ローズヴェルト | 54 ロダン |
| 55 ロバート＝キャパ | 56 湾岸戦争 | | |

問2 下線部（a）に関連して、ルネサンスの3大発明の残りの2つは何か。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、活版印刷発明以前は、何故、一部の人しか情報を持ちえなかったのか。その主たる理由を2つ、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、コーヒーハウスの流行とともに、砂糖の需要がイギリスでは増えた。17世紀後半、プランテーションを用いて砂糖を生産した中心地域はどこであったか。最も適当な地域を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、当時のアメリカ大統領は、何故この戦争を正義の戦争としたのか。答えは解答用紙Bの所定の欄に、40字以内で説明しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、スーダンは1956年に独立したが、

（ア） それまでどこの支配下にあったのか。

（イ） また上記（ア）がスーダンを支配するきっかけとなった事件を何と呼ぶか。

答えはそれぞれ解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

II. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

16世紀からのヨーロッパ諸国では、絶対王政のもとに必要な莫大な経費を賄う貨幣を獲得するために、(37) (38) と呼ばれる経済政策が遂行された。その初期段階は、国内に金銀などの貴金属や貨幣を、直接蓄積することに努めて、国内や植民地の鉱山開発が行われた。その後、アジアとの交易が拡大して金銀流失の抑制が困難になると、(a)輸出を盛んにして輸入を極力抑えることによって国家財政の増大を目指す。フランスでは、ルイ14世の時代に、財務総監 (39) (40) が、直接、輸出産業の育成に努め、輸入品の国産化を図った。

ヨーロッパの有力国は、自国製品を売るための国外市場が必要とされたことから、植民地を求めて積極的に海外に進出した。イギリスは、1623年に発生したアンボyna事件を転機に、勢力を (41) (42) からインドに移し、ボンベイ、(43) (44)、カルカッタを基地として、盛んな通商活動を展開した。そして、1651年に制定された (45) (46) を原因として発生した (47) (48) の後、世界貿易の覇権争いで優位に立った。

18世紀前半のイギリス農村部では、(b)輪作を中心とする新しい農法が導入されて生産性が高まり、これを容易にするために土地の集約が進められた。これにより土地を失った農民の多数が、都市に流入して工場労働者となり産業革命を推進した。(c)また、毛織物業を中心に間屋制手工業と呼ばれる資本主義的生産方式が確立していった。

18世紀後半から始まった産業革命によって、経済活動に機械や動力が導入され、機械制工場が展開された。これを契機に、経済の在り方や社会構造が根本的に転換し、人々の生活も一変した。資本家の中でも商人や農業経営者に代わって、工場経営者などが有力となる (49) (50) の時代が到来する。1820年代に入ると、強い経済力を有する資本家の働きかけによって、1828年の (51) (52) の廃止や、(d)1829年のカトリック教徒解放法の制定など、内政・外交両面で、自由主義改革が進められた。

国家規制の強かったフランスでは、『経済表』を著した (53) (54) や、百科全書派でルイ16世の時代に財務総監を務めた (55) (56) らが、(e)自由放任主義を唱えた。さらに、資本主義を体系的に考察した『諸国民の富』を著した (57) (58) は、自由主義的な古典派経済学を確立した。

大規模な工場生産が拡大するにつれて、大都市には、大量の未熟練労働者が集中するようになった。全国規模の労働組合も誕生し、団体交渉やストライキによって、その賃金や労働条件の改善を試みた。マルクスとエンゲルスは、1848年に『共産党宣言』を発表して、(f)万国の労働者が団結して革命によって社会主義を実現するように説いた。

ヨーロッパ諸国での労働者勢力の運動方針は多様であった。ドイツでは、ビスマルクが「飴と鞭」の政策を進めて、(59) (60) を制定する一方で、社会保険制度を導入した。各国の労働者政党は、国際的連帯を重視したため、社会主義運動の国際組織として、1889年に (61) (62) を結成し、帝国主義戦争への反対を主張した。これに対して、イギリスでは、(63) (64) 内閣の下で、(g)1911年に国民保険法を制定し、国民生活の安定に対しても責任を負うようになった。

19世紀末に、資本主義諸国では、(65) (66) と電力を新しい動力源とする第二次産業革命が進展して、少数の大企業が市場を支配する状況が生まれた。アメリカでは、(h)1890年に大企業の市場支配を阻止しようとして法律を制定したが、企業資本の集中はますます進んでいった。

問1 文中の空欄 (37) (38) ～ (65) (66) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (37) ～ (66) にマークしなさい。

- | | | | |
|-------------|----------------|----------------|----------------|
| 11 アダム＝スミス | 12 アロー | 13 インドネシア | 14 英西戦争 |
| 15 英仏戦争 | 16 英蘭戦争 | 17 貨幣主義 | 18 共産党 |
| 19 金融資本主義 | 20 ケネー | 21 ゴア | 22 航海法 |
| 23 穀物法 | 24 コルベール | 25 産業資本主義 | 26 社会主義運動鎮圧法 |
| 27 社会主義者鎮圧法 | 28 重金主義 | 29 重商主義 | 30 修正主義 |
| 31 自由党 | 32 審査法 | 33 スマイルズ | 34 石炭 |
| 35 石油 | 36 第1インターナショナル | 37 第2インターナショナル | 38 第3インターナショナル |
| 39 ダランベール | 40 団結禁止法 | 41 ディドロ | 42 鉄 |
| 43 テュルゴー | 44 天然ガス | 45 フィリピン | 46 保守党 |
| 47 ポンディシェリ | 48 マザラン | 49 マドラス | 50 マレーシア |
| 51 リカード | 52 リシュリユー | 53 労働組合法 | 54 労働党 |

問2 下線部（a）について、この経済政策を何主義というか。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）について、この当時に、イギリス東部で開発された輪作農法を何というか。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）について、この問屋制手工業の仕組みはどのようなものであったか。答えは解答用紙Bの所定の欄に、40字以内で説明しなさい。

問5 下線部（d）について、アイルランドの独立運動指導者として同法の成立に尽力した人物の名前は何か。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）について、自由放任主義を象徴的に表すフランス語の標語は何か。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）について、マルクスらは、それまでの社会主義思想を批判して、自分たちの社会主義思想のことをどう呼んだか。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部（g）について、この時に発足した2つの保険制度は何であったか。それらの保険の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問9 下線部（h）について、この時に成立した法律の名前は何か。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

第二次世界大戦の終結に伴い、東南アジアでもナショナリズムが高まり、各国は国民国家の建設に一齐に動き出した。1945年、インドネシアは独立を宣言したが、再植民地をねらうオランダと戦争が続き、4年後に締結された (67) (68) によって独立が認められ、主権を確立した。フィリピンは、(69) (70) 大統領のもと、議会で成立した「フィリピン独立法」に従い、1946年に独立を果たした。イギリス領のビルマは、1948年に (71) (72) 内閣との交渉によって共和国として独立したが、1962年のクーデターで (73) (74) による軍事政権が成立した。マレー半島では、人口の多いマレー人・中国人・(75) (76) から結成された連盟党が総選挙の勝利を背景に、1957年に (77) (78) が独立した。カンボジアは、1941年に王位についた (79) (80) が大戦後に独立運動を展開し、フランスやアメリカなどの国をまわって国際世論に訴えかけた結果、1953年に独立した。1955年、インドネシアの (81) (82) で、アジア＝アフリカ会議が開催され、「平和十原則」が採択された。

60年代に入って、平和を勝ち取ったアジアの国々は、経済近代化の道を歩みはじめた。日本では「所得倍増」を唱えた (83) (84) 内閣のもとで、高度経済成長を成し遂げ、1968年には国内総生産（GDP）がアメリカにつぐ世界第2位となった。日本の急激な経済成長は、周辺のアジア諸国に大きな影響を与えた。朝鮮戦争後の韓国では、1961年の軍事クーデターで権力をにぎっていた (85) (86) のもと、1965年に「日韓基本条約」を結び、日本からの資本と技術援助をうけながら経済開発を進めるようになった。60年代半ばに独立したシンガポールは、地理的優位を発揮して、金融・自由貿易港・(87) (88) などを柱として開発を推進した。(a)韓国とシンガポールに加えて、香港と台湾は、1970年代に顕著な経済成長をとげた。インドネシアでは、クーデターの鎮圧をきっかけに権力を掌握した (89) (90) が、(b)開発独裁のもとで「緑の革命」を進めた。1967年、タイ・フィリピン・マレーシア・シンガポール・インドネシアの5か国は、東南アジア諸国連合（ASEAN）を形成した。

80年代以後、これらの地域では政治的にも経済的にも大きな動きが生じた。韓国では、民主化と民族統一を求める気運が高まったが、その動きを抑えようとする政府の措置に抵抗して、1980年に発生した (91) (92) は政府によって鎮圧された。しかし民主化の流れは変えることができず、1988年に大統領の直接選挙が実現した。マレーシアでは、1981年に首相に就任した (93) (94) が、「アジアの先進国、日本に学べ」とする政策を展開した。(c)戦後のベトナムは、1986年から開放経済政策を積極的に実施した。1991年に (95) (96) でカンボジアの内戦に関する和平協定が締結され、国連のもとで新憲法の制定やカンボジア王国の設立が実現した。(d)1980年代以後、ブルネイ・ベトナム・ミャンマー（旧ビルマ）・ラオス・カンボジアは相次いでASEANに加盟し、東南アジア全域に広がるASEAN10になった。しかし、経済発展はけっして順風満帆ではなかった。1997年、(97) (98) の急落をきっかけにアジア通貨危機が発生し、経済構造の改革が求められた。

中国では、1970年代末から (99) (100) の指導のもとで「改革開放」を実施し始めた。1978年頃、農村部では (101) (102) が導入され、都市部では企業改革や外資導入によって経済発展が進んだ。しかし同時に社会矛盾が大きくなり、1989年に学生や市民により民主化を求める (103) (104) が起こり、西側諸国は対中制裁を発動した。1992年に指導部により重要談話が発表され、経済改革の加速は約束された。2001年12月に中国は (105) (106) への加盟を果たし、海外からの投資の急増につながっていった。

問1 文中の空欄 (67) (68) ～ (105) (106) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (67) ～ (106) にマークしなさい。

- | | | | |
|------------|-----------|-------------|------------|
| 11 APEC | 12 GATT | 13 WTO | 14 アイゼンハワー |
| 15 アウン＝サン | 16 アトリー | 17 アラブ人 | 18 池田勇人 |
| 19 インド人 | 20 ウォン | 21 観光 | 22 岸信介 |
| 23 九・三〇事件 | 24 金大中 | 25 建設 | 26 光州事件 |
| 27 五月危機 | 28 シハヌーク | 29 ジャカルタ | 30 周恩来 |
| 31 ジュネーブ協定 | 32 スカルノ | 33 スハルト | 34 生産請負制 |
| 35 全斗煥 | 36 造船 | 37 チャーチル | 38 田中角栄 |
| 39 天安門事件 | 40 鄧小平 | 41 ドル | 42 トルーマン |
| 43 二・二八事件 | 44 ネ＝ウィン | 45 農地改革 | 46 ハーグ協定 |
| 47 朴正熙 | 48 バーツ | 49 ハノイ | 50 パリ |
| 51 パリ講和条約 | 52 バリ島 | 53 バンドン | 54 フランス人 |
| 55 ボル＝ボト | 56 マハティール | 57 マラヤ連邦 | 58 マルコス |
| 59 マレーシア連邦 | 60 毛沢東 | 61 リー＝クアンユー | 62 ローズヴェルト |

問2 下線部（a）に関連して、（ア）これらの国や地域を指す総称は何か。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。（イ）70年代に、これらの国や地域の発展における共通した特徴にあてはまらないものを次の項目から1つ選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (107) にマークしなさい。

- 1 安価な労働力
- 2 成熟した民主主義社会
- 3 積極的な外資導入
- 4 輸出志向型産業の育成

問3 下線部（b）に関連して、（ア）「緑の革命」の目的は何か。（イ）「緑の革命」のために、アジアで最初に国際稲研究所がおかれた国はどこか。答えはそれぞれ解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、この政策を何と呼ぶか。答えは解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、ASEANの役割は、設立した当時と1990年代以降では、どんな違いがあったのか。その違いを解答用紙Bの所定の欄に、30字以内で説明しなさい。